

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年3月20日(2014.3.20)

【公開番号】特開2013-144168(P2013-144168A)

【公開日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-040

【出願番号】特願2013-88817(P2013-88817)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 17/39 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月31日(2014.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前立腺切除デバイスにおいて、

近位端及び遠位端を持つシャフトと、

前記シャフト内に設けられ、前記シャフトから離れるように組織との間に空間を作るべく通気流体を送出するように構成された第1の内腔と、

前立腺組織を切除するために半径方向外方にエネルギーを送出するように前記シャフト上に配置されたエネルギー源とを含む、デバイス。

【請求項2】

請求項1に記載のデバイスにおいて、更に、

前記ノズルの周囲の尿道を吸引し、アブレーション生成物を除去するため、前記シャフト内に設けられた内腔を含む、デバイス。

【請求項3】

請求項1または2に記載のデバイスにおいて、更に、

尿道を流体でフラッシングし、アブレーション生成物の除去を補助するため、前記シャフト内に設けられた内腔を含む、デバイス。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載のデバイスにおいて、

前記シャフトは、幅が1mm乃至10mmであり、長さが15cm乃至25cmである、デバイス。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか1項に記載のデバイスにおいて、

前記エネルギー源は、エネルギーを前立腺の様々な領域に選択的に差し向けるため、前記シャフトに対して移動自在である、デバイス。

【請求項6】

請求項5に記載のデバイスにおいて、

前記エネルギー源は、前記シャフトに対し、並進、回転、振動、及び／又は回転振動するようになっている、デバイス。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のデバイスにおいて、更に、
膀胱に固定するため、前記遠位端の近くに膨張可能なアンカーを含む、デバイス。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のデバイスにおいて、
前記膨張可能なアンカーは、膨張されたときに膀胱のほぼ全体を占有するようになって
いるバルーンである、デバイス。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、
前記エネルギー源は高圧流体イジェクタを含む、デバイス。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、
前記エネルギー源はレーザーエネルギー源を含む、デバイス。

【請求項 11】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、
前記エネルギー源は、更に、レーザーエネルギーを反射するためのミラーを含む、デバイス

。

【請求項 12】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、
前記エネルギー源は導電性流体源及び高周波エネルギー源を含む、デバイス。

【請求項 13】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、
前記エネルギー源は、尿道壁に当てて位置決めできる電極を含む、デバイス。